

令和7年度 音楽科学習案内

1 【音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方〇考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質〇能力を次の通り育成することを目指します。

- (1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2)音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 【学習内容】

音楽における1年間の学習内容は「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」を学期ごとに、バランスよく配置し、学年の成長とともにレベルアップを計り、学校行事とも連携する学習内容となっています。

3 【3年間の学習計画】

	1 学期	2 学期	3 学期
1 年	〇校歌 歌唱教材 〇四季より「春」 魔王	〇合唱コンクール課題曲・自由曲 〇赤とんぼ 〇楽器実技練習	〇日本・アジアの伝統音楽 〇卒業式歌
2 年	〇夏の思い出 〇翼をください 〇器楽アンサンブル	〇合唱コンクール課題曲・自由曲 〇フーガト短調 〇楽器実技練習	〇交響曲第5番ハ短調 〇歌劇。卒業式歌
3 年	〇花 〇ふるさと 〇早春譜 〇器楽アンサンブル	〇合唱コンクール課題曲・自由曲 〇楽器実技練習 〇歌舞伎、日本の伝統芸能	〇創作 〇卒業式歌

4 評価の観点・評価方法

評価の観点	内容	評価の方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、搜索で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・記述 ・作品の提出
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・記述
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・記述

5 観点と評定について

4の「3つの観点ABC」の意味と、組み合わせと評定との関連

「十分満足できる」状況と判断 : A

「おおむね満足できる」状況と判断 : B

「努力を要する」状況と判断 : C

* 授業参加の実態がほとんどなかったり、定期試験や単元テスト等が未受験、提出物が出ていない等、評価の材料がない場合、評定不能の判断により、評定欄が斜線の場合があります。

* 観点の内容による傾斜評価はありません。

観点別評価	評定
AAA	5
AAB	4
AAC ABB ABC BBB ACC BBC	3
BCC	2
CCC	1

6 道徳科との関連

音楽の学習で身につける力	道徳で学習する態度
日本の伝統的な音楽や芸能について学習し、日本の文化を理解し、継承しようとする態度を養う。	郷土の伝統と文化を大切にし、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努める態度。
<p>1年生 箏曲「六段の調」、雅楽「越天楽」 日本の民謡</p> <p>2・3年生 歌舞伎「勧進帳」 長唄、能楽、文楽</p>	優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者としてその発展に努める態度。
合唱や合奏の授業を通して取り組む素晴らしさや達成感を味わわせる。	他者とのかかわりの中で友情、信頼について考える。集団や社会との関わりの中で自分の役割について考え、

7 家庭学習のしかた

特にありません。

授業中にちゃんとやりましょう。